

ロタウイルスワクチン(定期予防接種)について

- ◎ ロタウイルス胃腸炎の重症化を予防する予防接種です。
- ◎ 令和2年10月1日 から定期接種が始まります。
- ◎ 令和2年 8月1日 以降に生まれた方が対象です。



【ロタウイルス胃腸炎とは?】

口から入ったロタウイルスが、腸管に感染して発症します。感染力が非常に強く、乳幼児のうちにほとんどの子どもが感染します。

下痢や嘔吐は1週間程度で治りますが、重症化すると脱水症状を起こす場合もあり、乳幼児の急性胃腸炎の入院の中で、もっとも多い感染症です。

一生のうちに何度も感染するウイルスですが、初めてロタウイルスに感染したときは、特に重症化しやすく、まれに脳や腎臓に影響を及ぼすこともあり、注意が必要です。

【ワクチンについて】

ロタウイルスワクチンは、2種類あり、飲むワクチンです。医療機関で相談し、どちらかのワクチンを選んでください。

2種類とも、予防効果や安全性に差はありませんが、接種回数が異なります。途中からワクチンの種類を変更できませんので、最初に接種したワクチンを2回目以降も接種します。

このワクチンは、ロタウイルス胃腸炎の発症そのものを7~8割減らし、入院するような重症化はそのほとんどが予防できます。ただし、ロタウイルス以外の原因による胃腸炎には予防効果を示しません。

ワクチン名	ロタリックス	ロタテック
標準的な接種時期	<初回接種> 生後2か月~出生14週6日後まで <2回目終了> 出生24週0日後までに	<初回接種> 生後2か月~出生14週6日後まで <3回目終了> 出生32週0日後までに
接種回数	2回 接種 (27日以上の間隔をあける)	3回 接種 (27日以上の間隔をあける)

【ワクチンを接種する前】

赤ちゃんのおなかがいっぱいだと、上手にワクチンが飲めない場合があるので、接種前30分ほどは授乳を控えることをお勧めします。

うまく飲めなかったり、吐いてしまった場合でも、わずかでも飲み込みが確認できていれば、ワクチンの効果に問題ありませんので、再度接種する必要はありません。

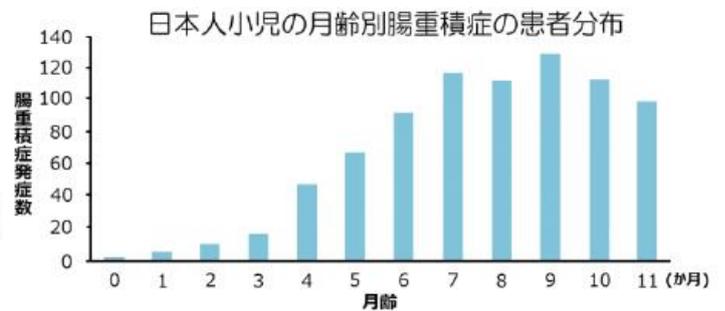
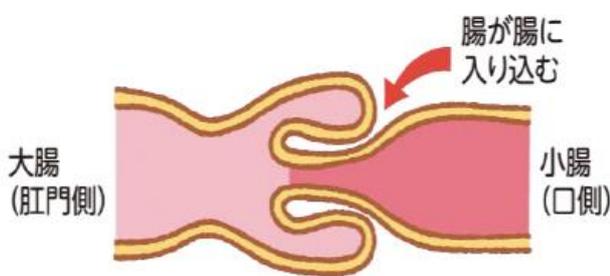
【ワクチンを接種した後】

接種直後は、医療機関でしばらく様子を見てから帰宅してください。
ワクチン接種後2週間ほどは、赤ちゃんの便の中に、ワクチンのウイルスが含まれることがあります。おむつ交換の後など、丁寧に手を洗ってください。



【腸重積症について】

腸重積症は、腸の一部が隣接する腸にはまり込む病気です。(下図) 0歳児の場合、ロタウイルスワクチンを接種しなくても起こる病気で、3か月から月齢が上がるにつれて多くなります。(下図グラフ)



ワクチン接種後（特に初回接種後）1～2週間くらいの間は、かかりやすくなると報告されています。次のような様子が一つでも見られるときは、医療機関を受診しましょう。

- 突然はげしく泣く
- 便に血が混じる
- ぐったりして顔色が悪い
- 嘔吐を繰り返す
- 機嫌が良かったり不機嫌になったりを繰り返す

*月齢が進むと、腸重積症にかかりやすくなります。できるだけ腸重積症の起こりにくい早めの時期に接種を受けましょう。

初回接種を生後15週以降に受けることはお勧めしていません。

詳しい情報はこちらへ

厚労省 予防接種



<問い合わせ先>

萩原保健センター 52-1230